

ベネチアングラス工房の見学と買い物で、グラス2個とネックレスを購入。街で売っているガラス工芸は偽物も多いとのこと、やはり本物はここで購入するのが正解かも。きれいなガラスの色に魅せられた。



見学の後、少し自由時間があり、地図を頼りに**リアルト橋**まで歩く。細い路地にはバックや仮面、ベネチアングラスが所狭しと並んでいる小さな店がたくさんあるが、時間がないので橋まで急ぐ。

カナル・グランデ大運河に架かる橋から兩岸に立ち並ぶ建物や棧橋、行きかう船を見ると、水の都を実感する。また路地を戻り、途中でピスタチオのジェラートで涼をとり、途中の店が気になるもサンマルコ広場へ向かう。

ベネチアと言ったらゴンドラでの水上観光。狭い水上を巧みにゴンドラを操作し運河巡りをするが、運河の両側には家が面していて、ゴンドラをタクシー代わりに使うという意味がわかる。

実際に水上から見ると、こんなに水に近くて大丈夫なのか、水に浸っていて不安はないのかと思ってしまった。さっき橋の上から見た大運河も通り、30分ほどののんびりした時間を過ごした。

昼食 イカスミのスパゲッティ 魚介のフリッター



☆リアルト橋から大運河を臨む



☆店が並ぶ路地



☆仮面の店やバックの店が多い



☆運河をゴンドラで

フィレンツェ (世界遺産) (3時間半 260km)

昼食後、水上バスで戻り、一路「花の都フィレンツェ」へ向かう。

フィレンツェはルネッサンス発祥の地であり、その街並みは数多くあるイタリアの街並みの中でも特に美しいと評判がある。

メディチ家による統治の下、15世紀のフィレンツェはルネッサンスの文化的な中心地となった。

ホテル到着後、夕食を済ませ、ライトアップされた**ジョットの鐘楼**に行くが、夜空に浮き出た絵画のようで、幻想的な建物に圧倒された。

シニョーリア広場には**ヴェッキオ宮**があり彫刻の広場である。夜も人が多い。

ホテルまでの帰り道、カラフルな可愛いディスプレイのショップが、目を楽しませてくれた。

夕食 ボルチーニ茸のフィトチーネ、フィレンツェ風ステーキ

(フィレンツェ泊)



☆ライトアップされたジョットの鐘楼



☆ヴェッキオ宮



☆洋菓子店は目でも楽しい



☆No1 のチョコレート専門店「ペンキ」